



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」  
—思いやり・やる気・たくましさ—

# 若松中だより

千葉市立若松中学校  
校報  
第 1 号  
平成31年 4月10日

## 平成31年度スタート

校長 古市 直彦

4月1日、菅野雅彦<sup>かんの まさひこ</sup>校長の後任として、着任いたしました、古市直彦<sup>ふるいち なおひこ</sup>です。伝統ある若松中学校で勤務できることを光栄に感じるとともに、生徒、保護者の皆様、地域の方々に出会えたことにうれしく思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

この校報では、校長の考えや行事の報告、学校行事に携わる職員や実行委員等の生徒の思いなど、若松中の様子を知っていただけるよう、生徒や保護者、地域の方に発信していきたいと思っています。よりよい紙面作りのために、忌憚のないご意見等寄せていただけますよう、お願ひいたします。

本年度の学校教育目標は、昨年度のものを引き継ぐ形で掲げさせていただきました。「めざす学校像」「めざす職員像」「めざす生徒像」も以下のとおりで変更ありません。

### 【学校教育目標】

「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」

—思いやり・やる気・たくましさ—

めざす学校像	めざす教師像	めざす生徒像
<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かみと潤いのある学校</li> <li>・生き生きと活力のある学校</li> <li>・達成感と充実感のある学校</li> <li>・家庭・地域と連携し協力し合う学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりを大切にす教師</li> <li>・心身共に健康で明朗快活な教師</li> <li>・意欲をもち、自ら研鑽に努める教師</li> <li>・職務の役割を自覚し、協力し合う教師</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かい心で思いやりのある生徒</li> <li>・意欲をもって学び、考える生徒</li> <li>・正しく判断し行動できる生徒</li> <li>・あきらめずに挑戦する生徒</li> </ul>

また、本校には、生徒が学校生活を送る上での基盤となる「おみそはこれあき」という合言葉もあります。

着任してまだわずかな期間ではありますが、この合い言葉は、生徒の皆さんの中にもかなり定着していることを、その生活ぶりから感じました。

おみそはこれあき

・**思いやり** 周りの人に親切にし、感謝の気持ちを持ちましょう

・**身だしなみ** 身だしなみを整え、制服は正しく着ましょう

・**掃除** 時間を守って一生懸命やりましょう


・**話を聞く態度** ましい姿勢で、しっかりと話を聞きましょう

・**言葉遣い** 場面や相手に応じて、正しく言葉を遣いましょう

・**礼儀** その場にあった礼儀作法ができるようにしましょう

・**あいさつ** 誰に対しても明るく爽やかな挨拶をしましょう

・**さまりを守る態度** さまりを守り、ひとりに迷惑をかけるようにしましょう



### 着任式

(4月5日)

以下の17名の職員が新たに着任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

校 長	(理科)	講 師	(技術)
教務主任	(国語)	講 師	(英語)
生徒指導主任	(保体)	講 師	(数学)
教 諭	(保体)	講 師	(美術)
教 諭	(国語)	講 師	(社会)
教 諭	(数学)	初任者指導教員	
教 諭	(社会)	美術補助教員	
教 諭	(特支)	スクールソーシャルワーカー	
教 諭	(音楽)		

(※順不同)

## 始業式 (4月5日)

着任式に引き続き、始業式を行いました。式中での私の話の内容を、一部抜粋して紹介させていただきます。一年間の学校運営を進めていく中で重視したいことを生徒の皆さんにお伝えしました。

平成31年度前期始業式の日を迎えました。

ここにいるのは、2年生と3年生ですが、それぞれ新しい学年に進級して、「今年もがんばるぞ！」という気持ちに満ちあふれていることと思います。

来週の月曜日には、新しい1年生も入学してきますね。

そして、先日、来月から始まる「令和」という新しい元号も発表されました。

「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められている…という説明もありました。「令和」を表す手話も決まったそうです。「つぼみ」が「開く」様子を表すことで「令和」を示すのだそうです。昨年度、創立40周年を終え、あらたな一歩を踏み出そうとしている若松中学校に、ぴったりの元号ですね。

でも、やるべき事・気をつけるべき事は今までと変わりありません。

皆さんが学校生活を送る上での合言葉がありましたね。「おみそはこれあき」です。

この中で、私が特に意識して欲しいことが、二つあります。

一つは、「あ」の挨拶です。

先ほどの着任式でも、話しましたが、挨拶には不思議な力があります。爽やかな「挨拶」があふれる学校というのは、きっと、すてきな学校になると思います。先ほどの挨拶も素晴らしかったですが、もっともっと爽やかな「挨拶」を目指してほしいと思います。

もう一つは、「お」の思いやりの一つであると私が考えている感謝の言葉「ありがとう」が、たくさん飛び交う学校であってほしい…ということです。この「ありがとう」という言葉は、言う方も言われた方も良い気持ちになれる言葉です。自分がお世話になったことに気づいて「ありがとう」と言い、気づいてくれたことに「ありがとう」で返す…。お互いがお互いを思いやる気持ちが無ければできませんね。

挨拶と、「ありがとう」があふれた学校を創る…ということに向け、若松中の生徒・職員みんなで心を寄せ合わせ、新しい文化の花を開いていく…そんな年にしたいと思っています。

一緒に頑張りましょう。



## 第41回入学式 (4月8日)

真新しい制服に包まれた195名(うち特別支援学級生徒6名)の新入生を迎えました。新入生代表の荒木勇人さんの「誓いの言葉」を紹介します。

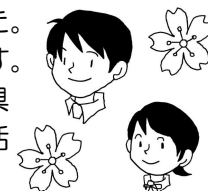
あたたかな春のおとづれとともに、私たち新入生一同は、夢と希望に満ちた新たな気持ちで、若松中学校の入学式を迎えることができました。本日はこのような素晴らしい式を準備していただき、心より感謝申し上げます。

振り返れば、小学校で過ごした6年間は、多くの方々に見守られ、支えられてきました。その中で、たくさんのお話を学び、体験し、一回りも二回りも成長することができました。

今日からは、若松中学校の生徒として、しっかりと行動していきたいと思っています。友達とは共に励まし合い、高め合っていく集団を目指していきます。勉強では、具体的な目的を立て、毎日努力していきます。そして、生徒会活動や学校行事・部活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

中学校生活では、わからないことがたくさんあると思います。上級生の皆さん、どうか、私たち新入生を温かく導いてください。よろしくおねがいします。校長先生をはじめ、先生方、これから3年間が充実したものとなりますよう、ご指導よろしくお願いいたします。

私たち新入生一同は伝統ある若松中学校の生徒としての自覚を持ち、実りある中学校生活を遅れるよう、精一杯努力することを約束し、誓いの言葉といたします。



2・3年生も、それぞれの入学時を振り返り、気持ちを新たにすることができるような素晴らしい「誓いの言葉」でした。在校生歓迎の言葉は、抜粋になりますが次号で紹介させていただく予定です。